

知内町データヘルス計画

平成30年度～平成35年度

平成30年4月

知 内 町

目 次

第1章 データヘルス計画の基本的事項	
(1) データヘルス計画策定の背景	P 1
(2) 計画の位置づけ	P 2
(3) 計画期間	P 2
第2章 当町の現状把握と医療・健康情報の分析	
(1) 加入者の状況	P 3
(2) 保健事業	P 3
(3) 疾病別医療費割合及び疾病統計（年度累計）	P 4
(4) 特定健診結果有所見率（年度累計）	P 5
第3章 分析結果に基づく健康課題	
(1) 基本的な考え方	P 5
(2) 健康課題	P 6
第4章 計画の評価方法	
(1) 計画の見直し体制	P 6
第5章 計画の公表・周知方法	
(1) 公表と周知方法について	P 6
第6章 個人情報の保護	
(1) 個人情報の保護について	P 6

第1章 データヘルス計画の基本的事項

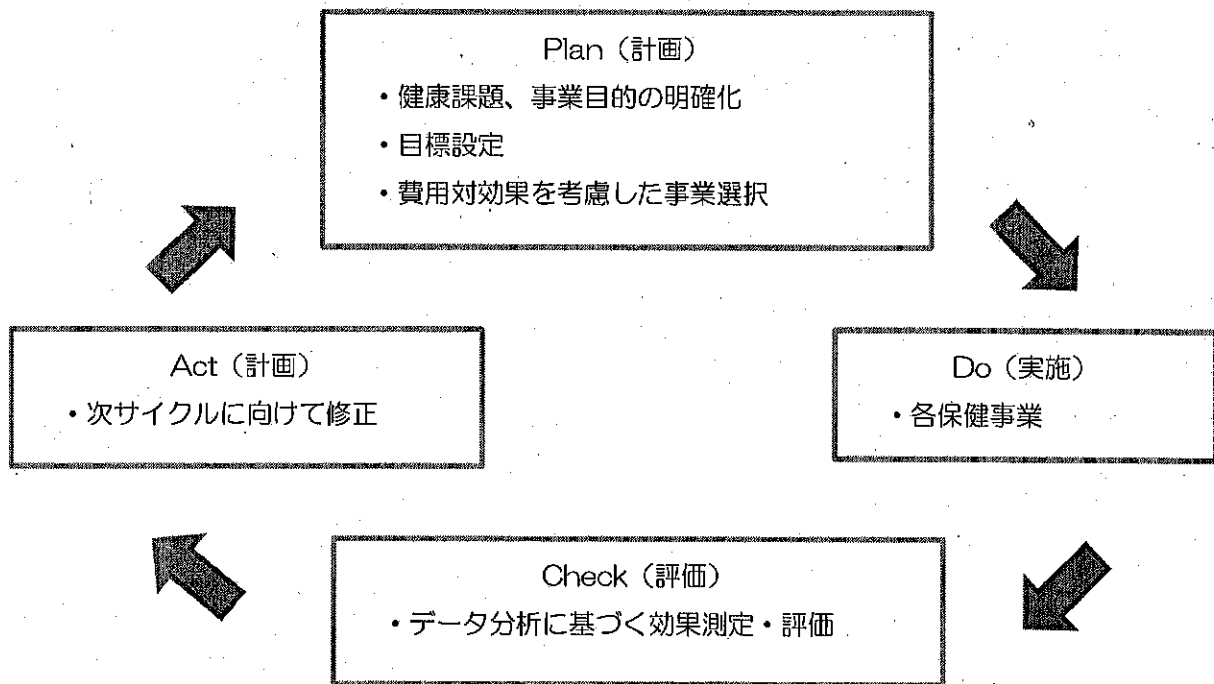
(1) データヘルス計画策定の背景

超高齢化の進展に伴い、働き盛り世代からの健康づくりの重要性が高まる中、「日本再興戦略」（平成25年6月閣議決定）は、“国民の健康寿命の延伸”を重要な柱として掲げました。

この戦略の中では、「全ての健康保険組合及び保険者に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画（データヘルス計画）の作成、評価等の取組を推進する。」と方針が打ち出されており、Plan（データ分析に基づく事業立案）、Do（事業の実施）、Check（事業の評価）、Act（事業改善）、の頭文字を取った「PDCA サイクル」に沿った保健事業の展開が求められています。

また、「健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」や「高齢者の医療の確保に関する法律」でも、効率的かつ効果的な保健事業の実施を図るため、重要な施策として、保険者による健康情報の蓄積・活用が位置付けられ、社会環境が変化する一方で保健事業が実施しやすくなるようにインフラ整備が進められています。

当町では、特定健康診査の実施や診療報酬明細書等（以下「レセプト」という。）の電子化の進展、国保データベースシステム（以下「KDB」という。）の整備により、健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析を行うことが可能となっており、こうした背景を踏まえ、データヘルス計画を策定し保健事業の効率的かつ効果的な実施及び評価を行うこととしました。



(2) 計画の位置づけ

本計画は、「第6次知内町まちづくり総合計画」において掲げた目標「まちに希望を持ち安心して住み続ける（定住）」を実現するための個別計画の一つに位置付けます。

また、「知内町健康増進計画」及び「第3期 知内町国民健康保健特定健康診査等実施計画」との整合性を図るものとします。

(3) 計画期間

本計画の期間は、平成30年度から平成35年度までの6年間とします。

第2章 当町の現状把握と医療・健康情報の分析

(1) 加入者の状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
総人口 (①)	4,948人	4,812人	4,709人	4,640人	4,501人
世帯 (世帯)	813世帯	781世帯	759世帯	732世帯	706世帯
被保険者 (③)	1,539人	1,459人	1,405人	1,330人	1,266人
国保加入割合 (③/①)	31.10%	30.32%	29.84%	28.66%	28.13%
国保加入割合 (男性)	50.19%	49.82%	49.11%	49.24%	48.82%
国保加入割合 (女性)	49.81%	50.18%	50.89%	50.76%	51.34%
64歳以上割合	33.33%	35.64%	39.00%	40.38%	42.50%

1. 知内町全体の約3割が国保に加入している。 (資料：住民基本台帳・事業年報)
2. 世帯数及び被保険者数は減少傾向にある。
3. 65歳以上の加入者の割合は増加傾向にある。

(2) 保健事業の実施状況

事業名	事業の目的及び概要	対象者	実施時期	事業目標	事業実績
特定 集健 団康 診査	【目的】 被保険者の健康維持 【概要】 6月・翌年1月の年2回行う住民検診に併せて実施。被保険者の健康状態の把握及び病気の早期発見を目的とする。	40～65歳	6月・翌1月の年2回		
特定 個健 別康 診査	【目的】 被保険者の健康維持 【概要】 集団以外に個別医療機関で受診機会を設定。被保険者の健康状態の把握及び病気の早期発見を目的とする。	40～65歳	6月1日～翌3月31日	H24 65% H25 40% H26 45% H27 50% H28 55%	H24 40.1% H25 35.5% H26 39.6% H27 34.5% H28 34.0%
みなし 検診	【目的】 被保険者の健康維持 【概要】 医療機関通院者の健康状態の把握及び病気の早期発見を目的とする。	40～65歳	6月1日～翌3月31日		
特定 保健 指導	【目的】 生活習慣病リスク保持者の生活習慣・健康状態の改善を図る。 【概要】 メタボリックシンドロームの減少を目的に被保険者に対し指導を実施。	40～65歳	6月1日～翌3月31日	H24 45% H25 50% H26 53% H27 55% H28 58%	H24 26.8% H25 12.0% H26 4.9% H27 14.8% H28 16.3%

(3) 疾病別医療費割合及び疾病統計（年度累計）

1. 疾病別医療費割合（医療費全体を100%とした場合の医療費の割合が高い疾患）

平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
筋・骨格	22.6%	新生物	20.3%	新生物	27.8%	新生物	24.3%
新生物	16.7%	筋・骨格	20.0%	筋・骨格	18.8%	筋・骨格	23.5%
精神	16.0%	精神	14.3%	糖尿病	11.7%	糖尿病	9.5%
高血圧	12.5%	高血圧	12.6%	精神	10.2%	脳梗塞	9.4%
糖尿病	10.8%	糖尿病	10.3%	高血圧	8.8%	精神	9.1%

2. 1件あたりの疾病統計

【入院】	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	金額（1件あたり）	順位（道内）	金額（1件あたり）	順位（道内）	金額（1件あたり）	順位（道内）	金額（1件あたり）	順位（道内）
糖尿病	516,356円	129位	608,482円	50位	670,565円	22位	528,383円	131位
高血圧	589,862円	103位	702,221円	16位	781,128円	4位	627,198円	77位
脂質異常症	510,508円	123位	565,363円	78位	625,732円	43位	589,798円	62位
脳血管疾患	665,556円	78位	679,863円	61位	772,092円	28位	726,669円	43位
心疾患	699,147円	89位	779,457円	44位	879,965円	22位	693,838円	86位
腎不全	607,354円	122位	694,149円	98位	1,198,605円	12位	710,847円	88位
精神	416,151円	148位	499,421円	50位	509,527円	60位	557,675円	29位
新生物	628,631円	89位	705,847円	31位	821,231円	2位	628,036円	106位
歯肉炎 歯周病	27,083円	6位	17,886円	90位	17,981円	98位	0円	109位

※道内上位を色づけ

【外来】	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	金額（1件あたり）	順位（道内）	金額（1件あたり）	順位（道内）	金額（1件あたり）	順位（道内）	金額（1件あたり）	順位（道内）
糖尿病	34,888円	124位	33,539円	145位	34,000円	155位	30,245円	169位
高血圧	27,877円	152位	27,706円	151位	29,784円	136位	27,694円	153位
脂質異常症	29,594円	92位	29,050円	104位	28,138円	136位	56,506円	144位
脳血管疾患	44,164円	30位	41,984円	44位	38,076円	89位	32,631円	126位
心疾患	41,709円	96位	39,232円	114位	39,532円	124位	39,456円	112位
腎不全	89,028円	158位	105,788円	151位	92,846円	157位	91,352円	150位
精神	28,982円	107位	29,891円	85位	29,083円	119位	27,528円	134位
新生物	38,198円	171位	39,030円	165位	39,909円	168位	51,513円	114位
歯肉炎 歯周病	18,041円	70位	15,832円	123位	17,160円	83位	18,262円	56位

※道内上位を色づけ

1. 疾病別医療費割合 ⇒ 「筋・骨格」「新生物」が高い
2. 疾病統計1件あたり医療費（入院） ⇒ 「脳血管疾患」「心疾患」「腎不全」「新生物」が高い
3. 疾病統計1件あたり医療費（外来） ⇒ 「脳血管疾患」「心疾患」「腎不全」「新生物」が高い

(4) 特定健診結果有所見率（年度累計）

項目	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	有所見率	順位（道内）	有所見率	順位（道内）	有所見率	順位（道内）	有所見率	順位（道内）
メタボ予備軍	13.3%	27位	13.1%	40位	15.1%	13位	17.0%	6位
メタボ該当者	13.5%	139位	17.5%	66位	15.4%	130位	18.1%	74位
非肥満高血糖	6.9%	95位	6.3%	114位	7.8%	73位	9.6%	33位
腹囲	30.0%	118位	34.5%	60位	31.8%	101位	37.2%	34位
BMI	11.1%	21位	10.7%	29位	10.1%	25位	11.7%	11位
血糖	0.3%	149位	0.5%	102位	0.8%	39位	1.1%	23位
血圧	11.1%	14位	10.9%	15位	12.3%	8位	11.7%	11位
脂質	1.9%	150位	1.7%	155位	2.0%	144位	4.3%	19位
血糖・血圧	2.9%	65位	4.6%	13位	3.4%	54位	4.3%	18位
血糖・脂質	0.5%	137位	1.2%	43位	0.8%	91位	1.1%	53位
血圧・脂質	6.9%	136位	7.3%	123位	8.7%	70位	7.4%	129位
血糖・血圧・脂質	3.2%	146位	4.4%	107位	2.5%	175位	5.3%	82位

※道内上位を色づけ

1. 「メタボ予備軍」「BMI」「血圧」「血糖・血圧」が道内で高順位

第3章 分析結果に基づく健康課題

(1) 基本的な考え方

1. がん

がんのリスクを高める要因としては、がんに関するウイルスへの感染のほか、喫煙（受動喫煙含む）や過剰飲酒、低身体活動、肥満・やせ、野菜・果物不足、塩分・塩蔵食品の過剰摂取など生活習慣に関するものがあります。

2. 循環器系疾患

脳血管疾患や心疾患などの循環器疾患は、がんと並ぶ主要死因の一つにあげられます。

循環器疾患の予防において重要なことは危険因子の管理であり、管理のためにはがん同様生活習慣の改善が最も重要です。

3. 糖尿病

糖尿病患者の増加は、有病率の高い高齢者人口の増加とともに運動不足や食生活の乱れなどで肥満が増えていくのが原因です。

また、糖尿病の未治療や治療を中断することは、糖尿病の合併症の増加につながる事が明確であるため、治療を継続し、良好な血糖コントロール状態を維持することが必要となります。

(2) 健康課題

今後の検討として大きく3点があげられます。

1点目は、被保険者の健康意識向上に向けた取り組みです。

被保険者に対し特定健診や生活習慣病予防の重要性など、情報提供をすることで健康意識の向上を図ります。

2点目は、特定健診による病気の早期発見です。

個別案内や広報などにより受診勧奨を強化し、新規健診受診者の獲得及び継続受診者のフォローを行い、病気の早期発見と重症化予防に努めます。また、医療機関と連携し協力体制を強化することで受診機会の拡大を図ります。

3点目は、保健指導方法の改善です。

がんや循環器疾患など、いずれも生活習慣（食事、運動、飲酒、喫煙）が深く関連する項目となっています。

対象者に対して早期介入できるよう自治体、医療機関が連携し、適正なアプローチを行うことで被保険者が良好な状態を維持できるよう支援を行います。

第4章 計画の基本的事項

(1) 計画の見直し体制

最終年度となる平成35年度に本計画の課題の達成状況を検討します。

国保、保健各部門との連携を強化し、戦略的に事業を推進できるように取り組みます。

第5章 計画の公表・周知の方法

(1) 公表と周知方法について

本計画は国保においてどのような健康課題があるのか関係機関等に知ってもらう必要があることから、知内町ホームページに掲載し公表します。

第6章 個人情報の保護

(1) 個人情報の保護について

個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律及び知内町個人情報保護条例を遵守するものとします。